

			助産学基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア
			助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1] 妊娠期 第5版
			助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期 第5版
			助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期 第5版
			実践マタニティ診断 第4版
			標準産婦人科学第4版
			新生児学入門第5版
助産診断・技術学Ⅲ	60		助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア
			助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア
			助産学基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア・新生児期・乳幼児期のケア
			助産学基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア
			助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1] 妊娠期 第5版
			助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期 第5版
			助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期 第5版
助産診断・技術学Ⅳ	30		助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア
			助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア
			助産学基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア・新生児期・乳幼児期のケア
			助産学基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア
			助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1] 妊娠期 第5版
			助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期 第5版
			助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期 第5版
			標準産婦人科学第4版
ウイメンズ・ヘルスケア	15		助産師基礎教育テキスト 第2巻 ウイメンズヘルスケア
			助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア
			助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア
			助産学基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア・新生児期・乳幼児期のケア
			助産学基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア
			助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1] 妊娠期 第5版
			助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期 第5版
			助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期 第5版
リプロダクティブ・ヘルスケア	30		助産師基礎教育テキスト 第2巻 ウイメンズヘルスケア
特論:女性と子供の健康と暴力		1 科目 必修	15 フォレンジック看護
特論:不妊症とケア			15 標準産婦人科学第4版
特論:新生児リハビリテーション			15 助産師基礎教育テキスト 第2巻 ウイメンズヘルスケア
地域母子保健Ⅰ	15		日本ディベロップメンタルケア(DC)研究会議改訂2版
地域母子保健Ⅱ	30		助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 第5版
地域母子保健演習A		選 択	30 助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 第5版
地域母子保健演習B			30 特に指定なし
助産学演習	30		助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア
			助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア
			助産学基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア・新生児期・乳幼児期のケア
			助産学基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア
			助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1] 妊娠期 第5版
			助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期 第5版
			助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期 第5版
			標準産婦人科学第4版
			新生児学入門第5版
			実践マタニティ診断 第4版
助産学実習Ⅰ	180		助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア
			助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア
			助産学基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア・新生児期・乳幼児期のケア
			助産学基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア
			助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1] 妊娠期 第5版
			助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期 第5版
			助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期 第5版
			標準産婦人科学第4版
			新生児学入門第5版
助産学実習Ⅱ	180		助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア
			助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア
			助産学基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア・新生児期・乳幼児期のケア
			助産学基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア
			助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1] 妊娠期 第5版
			助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期 第5版
			助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期 第5版
			標準産婦人科学第4版
			新生児学入門第5版
			実践マタニティ診断 第4版

		新生児学入門第5版
助産学実習Ⅲ	180	助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア
		助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア
		助産学基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア・新生児期・乳幼児期のケア
		助産学基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア
		助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1] 妊娠期 第5版
		助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期 第5版
		助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期 第5版
		標準産婦人科学第4版
		新生児学入門第5版
助産学実習Ⅳ	45	助産学基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア
		助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1] 妊娠期 第5版
		助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期 第5版
		助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期 第5版
		助産学講座10 助産管理 第5版
		新生児学入門第5版
助産マネジメント	15	助産学講座10 助産管理 第5版
助産マネジメント実習	45	特に指定なし
助産学研究	30	特に指定なし

3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)	
①受講するに当たって必要な実務経験等	なし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	大学を卒業した者又は文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められるものであって、かつ看護師国家試験に合格した者(女性に限る)。
③その他	

[特記事項]

--

専門実践教育訓練明示書

6. 受講効果の把握方法																					
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験・進級試験等の具体的な基準)	各科目の出席率が講義科目は2/3以上、演習・実習科目は4/5以上。 前期・後期(6か月ごと)の定期試験において60点以上の得点の者に対して単位を認定する。(助産学専攻科履修規程第6条, 同7条)																				
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	カリキュラムの進行に応じて、小テストやレポート作成を実施し、習得度を確認している。 必要に応じて、担当教員が弱点補強指導を行っている。																				
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	本学に1年間以上在籍し、修了単位(35単位以上)を修得した者(学則第53条)																				
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	カリキュラムの進行に応じて、小テストやレポート作成を実施し、習得度を確認している。 必要に応じて、担当教員が弱点補強指導を行っている。																				
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法																					
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	成績が低位の者に対して個別指導を行っている。 また、学生の希望に応じて個別指導を行っている。																				
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	就職を支援する「キャリア支援センター」に専任の相談員を配置し、随時相談を受けている。																				
8. その他の事項																					
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	茨城県 (代表者名 茨城県知事 大井川 和彦)																				
住所及び連絡先	茨城県水戸市笠原町978番6 TEL 029-301-1111																				
施設名称及び施設長名	茨城県立医療大学 (施設長: 学長 松村 明)																				
住所及び連絡先	茨城県稲敷郡阿見町阿見4669番2 TEL 029-888-4000																				
苦情受付者	氏名 岡本 博 所属 教務課	事務担当者	氏名 山本 曜子 所属 教務課																		
連絡先	TEL 029-840-2111	連絡先	TEL 029-840-2111																		
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 874,200 円 (茨城県内の者は、705,000 円)																				
支払方法	① 入学料 (税込額) 338,400 円 (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) (茨城県内の者は、169,200円)																				
① 一括払																					
② 分割払	② 受講料 (税込額) 535,800 円 (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">第1期</td> <td style="width: 40%; padding: 2px;">267,900 円</td> <td style="width: 10%; padding: 2px;">円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">第2期</td> <td style="padding: 2px;">267,900 円</td> <td style="padding: 2px;">円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">第3期</td> <td style="padding: 2px;"></td> <td style="padding: 2px;">円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">第4期</td> <td style="padding: 2px;"></td> <td style="padding: 2px;">円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">第5期</td> <td style="padding: 2px;"></td> <td style="padding: 2px;">円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">第6期</td> <td style="padding: 2px;"></td> <td style="padding: 2px;">円</td> </tr> </table> (うち、必須教材費 0 円)			第1期	267,900 円	円	第2期	267,900 円	円	第3期		円	第4期		円	第5期		円	第6期		円
第1期	267,900 円	円																			
第2期	267,900 円	円																			
第3期		円																			
第4期		円																			
第5期		円																			
第6期		円																			
③ 両方可能																					
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 263,100円																				
	① 任意の教材費(税込額) ※市販の教科書は任意の教材費で区分されます。 0 円																				
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額) 220,000 円																				
	③ 施設維持費(税込額) 0 円																				
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額) 43,100 円																				
	3. 総額 (1+2) (税込額) 1,137,300 円 (茨城県内の者は 968,100円)																				